

経営比較分析表（令和4年度決算）

香川県 綾川町

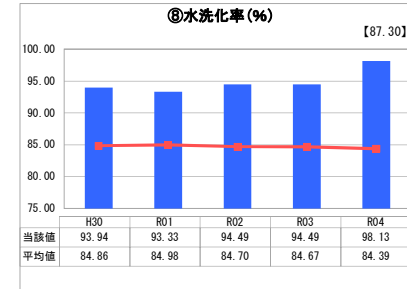
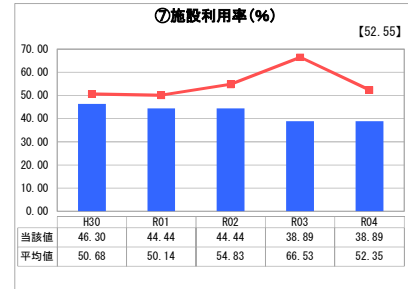
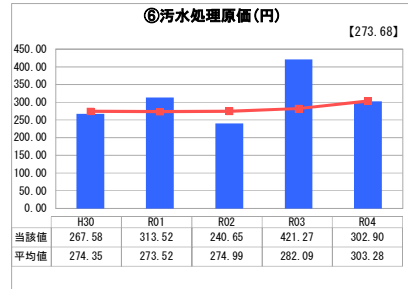
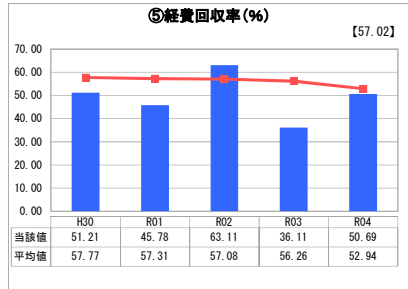
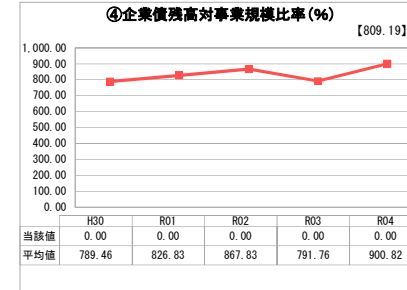
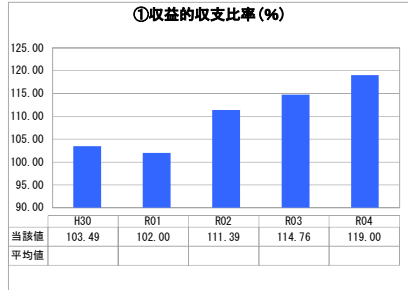
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	0.46	100.00	2,640

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
23,368	109.75	212.92
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
107	0.12	891.67

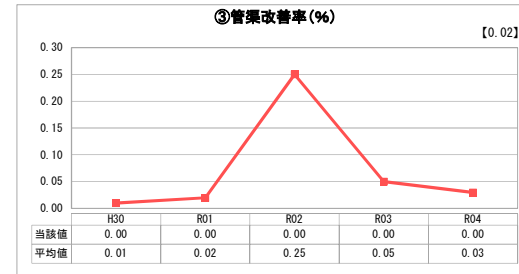
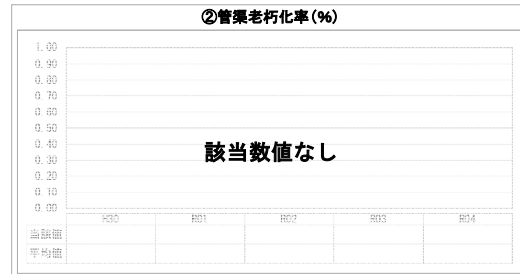
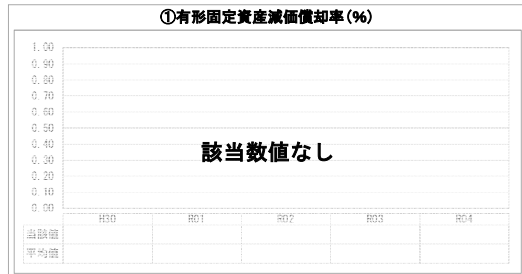
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

○収益的収支比率は前年度からの繰越金の増により前年度を上回っておりますが、使用料収入は前年度並みです。

○企業債残高対事業規模比率(%)は、当初計画において、一般会計が負担するとされており当該数値はありません。

○経費回収率の増は主に修繕費が減少したことによるものですが、100%を大きく下回っており、収支不足を一般会計からの繰入金で賄っている状況です。

○汚水処理原価の減についても、主に修繕費が減少したことによるものです。

○施設利用率については類似団体を下回っておりますが、水洗化率が90%を超えていることから、新たな利用が見込めず、ほぼ横ばいが続きます。水洗化率についても、ほぼ横ばいで推移しています。

○今後も新たな利用（土地改良事業の性質上、受益地、受益者が限定されており、また、一般家庭以外の用途利用が見込めない。）や使用料収入の増加が見込めないことから、より維持管理の適正化に努めます。

2. 老朽化の状況について

○供用開始から20年が経過し、処理施設及びマンホールポンプ施設の月次点検や自主的な水質検査により、経年劣化によるマンホールポンプ施設の一部更新はありますが概ね適正に管理が行われています。

なお、令和元年に「施設機能診断」を実施し、この結果を基に令和2年度において「最適整備構想」を策定し、以降は当該構想に基づき管理を行ってまいります。

全体総括

○令和6年度に企業会計移行を予定しており、経営戦略についても改定予定です。改定後の経営戦略に基づき処理施設の適切な維持管理を継続することにより、更新費用の平準化に努めます。小規模事業であり、将来的には地区内人口の減少及び施設の老朽化が課題となることから、令和5年度に再編計画検討を行っております。その結果を踏まえ、農業集落排水事業について、将来の事業のあり方について検討する必要があります。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。